

登録コード	E9123301	開講年度	2026				
授業科目	教育心理学特別演習 B					担当教員	三和 秀平
英文授業名	Special Seminar 2 for Educational Psychology B					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	教育心理学に関する研究手法の解説と研究計画の発表を行い、議論を通して理解を深める。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：学術論文の書き方（方法） 第 3 回：学術論文の書き方（結果） 第 4 回：学術論文の書き方（問題と目的） 第 5 回：学術論文の書き方（考察） 第 6 回：分析手法の吟味（記述統計） 第 7 回：分析手法の吟味（統計的仮説検定） 第 8 回：分析手法の吟味（効果量） 第 9 回：分析手法の吟味（多変量解析） 第10回：分析手法の吟味（質的手法） 第11回：プレゼンテーションのしかた（組み立て方） 第12回：プレゼンテーションのしかた（問題と目的） 第13回：プレゼンテーションのしかた（方法と結果） 第14回：プレゼンテーションのしかた（考察） 研究計画の発表は随時行う。 受講者の研究計画と興味に応じ、内容を変更することがある。 学期最終回の授業で「授業アンケート」を実施する 教育実習等で欠席をした場合は別途課題を出す						
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 発表（50%）、議論への参加（50%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 発表、議論への参加は、教育心理学分野における基礎的な知識・技能をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考え、他者と協働し、教育活動に応用する力を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】教育心理学に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考え、他者と協働し、教育活動に応用する力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】教育心理学に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考え、他者と協働し、教育活動に応用する力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】教育心理学に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考え、他者と協働し、教育活動に応用する力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】教育心理学に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考え、他者と協働し、教育活動に応用する力を総合して、一定水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	●研究に対する情報を収集する。 ●研究に対する自らのアイデアや実験・調査結果をまとめる。 ●授業内容について、振り返りを行う。 ●授業内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める ●60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	●現代教育コース発達・教育心理ユニットの受講を指定された学生に限る。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室在室時は随時質問、相談可能です。メールでアポイントメントを取ると確実です。						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。						